

(別紙様式第3号)

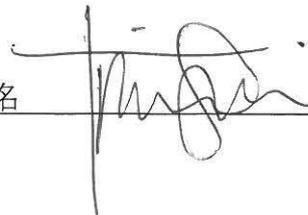
論 文 要 旨

論 文 題 目

Obesity related impact on Quality of Life of adult healthy working population in the Republic of Palau

(パラオ共和国について健康成人の生活の質に対して肥満が与える影響について)

氏 名



印

肥	満	お	よ	び	そ	の	関	連	疾	患	は	世	界	各	国	で	脅	威	
的	な	問	題	と	な	っ	て	い	る	が	、	特	に	発	展	途	上	国	に
お	い	て	は	食	生	活	の	西	洋	化	や	生	活	ス	タ	イ	ル	の	変
化	に	伴	い	、	本	問	題	が	急	速	な	進	行	を	み	せ	て	い	る
パ	ラ	オ	共	和	国	も	例	外	で	は	な	く	、	全	死	因	の	73	%
が	生	活	習	慣	病	関	連	に	あ	た	る	な	ど	深	刻	な	肥	満	問
題	に	直	面	し	て	い	る	。	し	か	し	、	パ	ラ	オ	国	民	の	肥
満	に	対	す	る	問	題	意	識	や	、	肥	満	が	彼	ら	の	主	観	的
健	康	感	や	生	活	の	質	(QOL)	に	与	え	る	影	響	は	詳	
し	く	検	討	さ	れ	て	は	い	な	い	。	今	回	我	々	は	同	国	で
の	有	効	な	肥	満	対	策	を	検	討	す	る	た	め	、	同	国	の	健
康	成	人	に	お	い	て	、	肥	満	と	主	観	的	健	康	感	お	よ	び
QOL	と	の	関	連	に	つ	い	て	の	研	究	を	行	っ	た	。			
対	象	は	パ	ラ	オ	共	和	国	の	成	人	勤	労	者	356	名	(男	
性	124	名	、	女	性	232	名	、	平	均	年	齢	42	歳)	で	、	社	会
人	口	統	計	指	標	や	生	活	習	慣	関	連	に	基	づ	く	質	問	票
の	ほ	か	、	世	界	保	健	機	構	の	生	活	の	質	に	関	す	る	評
価	ス	ケ	ー	ル	短	縮	版	(WHOQOL-BREF)	を	用	い	て	主	観			
的	健	康	感	(身	体	面	、	心	理	面	、	社	会	面	、	環	境	
面)	お	よ	び	QOL	に	つ	い	て	の	意	識	調	査	を	行	っ	た	

な	お	、	調	査	に	回	答	の	得	ら	れ	た	356	人	の	う	ち	、	176
人	は	保	健	サ	ー	ビ	ス	関	連	の	勤	労	者	、	180	人	は	そ	の
他	の	勤	労	者	で	あ	り	、	両	群	間	に	お	け	る	比	較	検	討
も	併	せ	て	行	っ	た	。	ま	た	、	回	答	者	の	身	長	お	よ	び
体	重	の	デ	ー	タ	よ	り	Body	Mass	Index	(BMI)	を	算	出	し	、	
対	象	を	標	準	(18.5-24.9	kg/m ²)	、	太	り	気	味	(25-29.9	kg/m ²)	、	
肥	満	(>30	kg/m ²)	の	3	群	に	分	類	し	、	こ	れ	ら	3	群	
間	に	お	い	て	も	比	較	検	討	を	行	っ	た	。					
	調	査	結	果	よ	り	、	対	象	と	な	る	パ	ラ	オ	成	人	勤	労
者	の	80%	以	上	が	標	準	BMI	を	逸	脱	し	て	い	た	が	(平	均
BMI:29.8)	、	保	健	サ	ー	ビ	ス	関	連	の	勤	労	者	と	そ	の	他	の
勤	労	者	と	の	間	で	BMI	値	に	有	意	差	は	な	か	っ	た	。	ま
た	健	康	満	足	度	、	社	会	面	を	除	い	た	主	観	的	健	康	感
お	よ	び	QOL	に	関	し	て	も	、	こ	れ	ら	2	群	間	で	有	意	
差	を	認	め	な	か	っ	た	。	一	方	、	3	つ	の	異	な	る	BMI	群
間	に	お	い	て	は	、	健	康	満	足	度	(p<0.001)	お	よ	び	心	
理	面	の	主	観	的	健	康	(p<0.05)	の	項	目	で	有	意	差	が	
認	め	ら	れ	、	BMI	が	高	い	ほ	ど	こ	れ	ら	の	尺	度	が	低	く
な	る	結	果	だ	っ	た	。	し	か	し	身	体	・	社	会	・	環	境	面
で	の	健	康	感	や	QOL	に	関	し	て	は	、	標	準	か	ら	肥	満	

ま	で	の	3	群	間	で	有	意	差	は	見	ら	れ	な	か	っ	た	。	
	本	研	究	よ	り	、	パ	ラ	オ	共	和	国	の	健	康	成	人	の	肥
満	度	は	危	険	水	域	を	超	え	る	水	準	に	あ	る	こ	と	が	示
さ	れ	た	が	、	同	国	民	の	意	識	の	中	に	は	、	肥	満	が	身
体	的	健	康	を	阻	害	し	QOL	を	低	下	さ	せ	う	る	と	い	う	
危	機	認	識	は	共	有	さ	れ	て	お	ら	ず	、	糖	尿	病	や	心	疾
患	な	ど	深	刻	な	合	併	疾	患	の	リ	ス	ク	が	過	小	視	さ	れ
て	い	る	可	能	性	が	示	唆	さ	れ	た	。	ま	た	、	同	国	で	は
健	康	問	題	に	鋭	敏	で	あ	る	べ	き	保	健	サ	ー	ビ	ス	提	供
者	自	身	も	肥	満	に	対	す	る	危	機	認	識	に	乏	し	く	、	肥
満	予	防	に	向	け	た	実	践	が	な	さ	れ	て	い	な	い	こ	と	が
示	さ	れ	た	。															
	し	た	が	っ	て	、	今	後	の	パ	ラ	オ	共	和	国	に	お	け	る
肥	満	予	防	戦	略	と	し	て	は	、	一	般	市	民	に	向	け	て	肥
満	が	身	体	的	健	康	に	対	し	て	深	刻	な	影	響	を	与	え	る
点	を	十	分	に	教	育	・	啓	発	す	る	と	と	も	に	、	保	健	サ
ー	ビ	ス	関	連	勤	労	者	へ	集	中	的	に	先	駆	け	て	啓	発	を
行	い	、	住	民	の	行	動	規	範	の	モ	デ	ル	と	な	る	べ	く	認
識	の	改	善	と	行	動	の	変	容	を	促	し	て	い	く	こ	と	が	急
務	と	考	え	ら	れ	た	。												

(別紙様式第 7 号)

論文審査結果の要旨

報告番号	課程博 * 第 号 論文博	氏名	Singeru Travis Singeo Jr
論文審査委員	審査日	平成 25 年 02 月 19 日	
	主査教授	益崎 裕章	印
	副査教授	青木 一雄	印
	副査教授	斎藤 誠一	印
(論文題目)			
Obesity related impact on Quality of Life of adult healthy working population in the Republic of Palau (パラオ共和国における健康成人勤労者の生活の質に対して肥満が与える影響について)			
(論文審査結果の要旨)			
上記の論文に関し、研究に至る背景と目的、研究内容、研究成果の意義、学術的水準について慎重かつ公正に検討し、以下のような審査結果を得た。			
1. 研究の背景と目的			
肥満およびその関連疾患は世界各国で問題となっており、パラオ共和国も例外ではない。しかし、パラオ国民の肥満に対する問題意識は乏しく、肥満が彼らの主観的健康感や生活の質 (QOL) に与える影響についての先行研究はない。同国での有効な肥満対策を検討するため、同国の健康成人勤労者における肥満と主観的健康感および QOL との関連について本研究を行った。			
2. 研究内容			
対象はパラオ共和国の健康成人勤労者 356 名で、社会人口統計指標や生活習慣関連に基づく質問票のほか、世界保健機構の生活の質に関する評価スケール短縮版を用いて主観的健康感および QOL についての意識調査を行った。なお、対象者を保健サービス関連の勤労者とその他の勤労者に分類し、両群間における比較検討も併せて行った。また、回答者の Body Mass Index (BMI) から対象者を標準、太り気味、肥満の 3 群に分類し、これら 3 群間においても比較検討を行った。			
調査結果より、対象者の 80%以上が標準 BMI を逸脱していたが、保健サービス関連の勤労者とその他の勤労者との間で BMI に有意差はなかった。また健康満足度、社会面を除いた主観的健康感および QOL に関しても、これら 2 群間で有意差を認めなかった。一方、3 つの異なる BMI 群間においては、BMI が高いほど健康満足度および心理面の主観的健康の尺度が有意に低かった。しかし、身体・社会・環境面での健康感や QOL に関しては、標準から肥満までの 3 群間で有意差はみられなかった。			
本研究より、パラオ共和国の健康成人勤労者の肥満度は危険な水準にあることが示された			

が、肥満が身体的健康を阻害し QOL を低下させうるという危機認識は共有されておらず、糖尿病や心疾患など合併疾患のリスクが過小視されていると考えられた。また、同国では、健康問題に鋭敏であるべき保健サービス関連の勤労者にも肥満に対する危機認識が乏しく、肥満予防に向けた実践がなされていないことが示唆された。今後のパラオ共和国における肥満予防戦略としては、一般市民に先駆けてリーダーシップを取るべき規範となる保健サービス関連の勤労者へ啓発を重点的に行う手法が重要と考えられた。

3. 研究成果の意義と学術的水準

本研究によって、パラオ国民の健康感や QOL が明らかにされ、肥満予防の認識改善への有効かつ具体的な啓発手順が示唆され、疫学および予防医学的に極めて有意義な研究であることから、学術的な意義は高いと考えられた。

以上より、本論文は学位授与に十分に値すると判断した。(1122 字)

- 備考
- 1 用紙の規格は、A4とし縦にして左横書きとすること。
 - 2 要旨は800字～1200字以内にまとめること。
 - 3 *印は記入しないこと。